



小布施町
社会福祉協議会

社協報

ふく 福ちゃん

2025

10月

第139号



笑顔あふれる
ゆるっとカフェで
素敵な時間を



目次

- 2P~3P 支え合いまちづくりレポート
- 4P 学生たちの活躍
- 5P 私たちの町で働く「ふくし」のカタチ
- 6P 各種おしらせ&募集
募金のご協力のお願い



表紙：ゆるっとカフェ(詳細は2～3P参照)



注文をまちがえる料理店 ま、いつかの日

9月21日の「世界アルツハイマーデー」に合わせ、全国各地で「注文をまちがえる料理店 ま、いっかの日」が開催されました。「注文をまちがえる料理店」は、ホールスタッフを認知症のある方がつとめるユニークなレストランです。「こうしなくてはいけない」「こうあるべき」という固定観念にとらわれず、「ま、いいか」と少し寛容になることで、間違いを受け入れ、それを一緒に楽しもうというコンセプトです。この料理店は、認知症の人

とともに暮らす新しいあり方を発信する場となっています。

8年前に始まったこのプロジェクトは、コロナ禍で中断した期間もありましたが、今年はじめて全国一斉の共催イベントとして開催されました。

小布施町でもこの企画の趣旨に賛同した有志が集まり、認知症のある方もスタッフとして参加する「ゆるっとカフェ」を開店しました。



「ゆるっとカフェ」開催レポート♪

カフェ当日は、約50名のお客様をお迎えし、終始にぎやかな雰囲気で開催されました。紅茶のソーサーをつけ忘れてしまい、後からお出しするスタッフの「ごめんね～」に対し、お客様は「あら、いいですよ!」と笑顔で応じる一幕がありました。



また、スタッフが「お味はいかが?」と声をかけると、「最高ですよ!」とお客様が返すなど、自然な会話を楽しむ場面も多く見られました。休憩時には、スタッフ同士がお互いに「疲れてないかい?」といったわり合う温かい姿も。店内には多くの笑顔があふれ、優しさに包まれた時間が流れました。



お客様から
いただいた
たくさんの
メッセージ
(抜粋)



本日はありがとうございました！
ご感想やメッセージをお願いいたします。

とても おいしい コーヒー と シフォンケーキ
が、お店の 温かい 雰囲気や 皆さんの
笑顔で さらに おいしく 感じられ
ました。

お店の中には ゆったりとした
時間が流れていて、とてもほっとした
気持ちになりました。ありがとうございました。

本日はありがとうございました！
ご感想やメッセージをお願いいたします

世の中に認知症になってしま
変わらなく生活が出来ず
皆さんと共に生きている
という事を感じました

本日はありがとうございました！
ご感想やメッセージをお願いいたします。

「おんけい、ノ・サ、をふかして
内へ心カフエラして、いいな、と思ひました。
青地紙にたくさん書かされた方に、久し振川
お会いです。皆、お方うけでござへ様じや
ない様子を知らぬことがござへ様じや
ない。
お事ごきやう、皆、思ひやういふ様じや
ない様じやない。

本日はありがとうございました！
ご感想やメッセージをお願いします。

今日は素敵な時間をありがとうございました。
スタッフの方が丁寧な接客に大変お世話
くださいました。とても嬉しい気持ちになりました。
またぜひ開催していただきたいです。


「ま、いっか」のプロたち! ~おもてなしの心で輝いた 3人の“ゆるっと”スタッフ~

慣れない役割にも関わらず、お客様と真摯に向き合い、おもてなしの心で活躍されたスタッフの方々がありました。その中で奮闘された3人をピックアップ。彼らがもたらした優しさとユーモアあふれるひとときの様子をお届けします。

丁寧な接客が光った紳士の活躍! 橋本 初男さん

当日は、奥様がアイロンをかけてくれたピシッとしたワイシャツという装いで、お客様を迎える準備万端の紳士姿を見せてくれました。

自己紹介では「忘れることが早い、それがとりえでもあります」というユーモアあふれる言葉で、会場を和ませてくださいました。

ホール係では「お待たせいたしました」「どうぞごゆっくり」と丁寧な接客で、お客様をきめ細やかにサポート。お帰りになるお客様から「橋本さん、ありがとう」と声をかけられると、照れたような笑顔を見せていたのが印象的でした。



誰かがそばにいれば、橋本さんのお人柄や魅力を活かして活躍できると分かりました。今後も、地域の中でその個性を発揮できる場を広げていきたい。

橋本さんを紹介した ケアマネジャーより



“ゆるっと”だから生まれた最強ペア! 唐沢 彦三さん & 中村 安さん

ホール係として同じテーブルを担当したお二人は、互いの得意分野を活かした見事なチームワークを発揮。お話やメモを取るのが得意な唐沢さんが、お客様の注文と楽しい会話を担当。一方、中村さんは、てきぱきと、そして優しい笑顔を絶やさずにお料理を運んでくださいました。次回の参加について尋ねてみると、唐沢さんからは「考えておくよ。あれは、あなたもやったほうがいい」と。それに対し中村さんは「息子に笑われちゃう」と、はにかんだ笑顔で応じられました。

疲れながらも、やり遂げた清々しいお顔が印象的でした。奥にしまわれていたその人らしさが、カフェをきっかけに表に出てきたように感じます。

二人を担当する支援員より



小布施町地域包括支援センターより

ともに暮らしやすい町にしていくためには「新しい認知症観」の考えに立つことが重要です。この「新しい認知症観」とは、「認知症になっても、一人ひとりができることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」というものです。

住民一人ひとりがこの考えを理解し、認知症への理解を深めていく必要があります。

今回の「ゆるっとカフェ」は、この「新しい認知症観」について考え、理解を深められる大変貴重な機会となりました。今後も、この取り組みを継続し、理解を広げていきます。

関わり方ひとつで、その人らしさや役割を引き出せると実感しました。受け入れてくれる環境があれば、誰もが自分らしくいられる場所になるのだと深く感じています。

ゆるっとカフェ
運営チーム
ゆるっとより



～学生たちの活躍～

福祉のお仕事 & ボランティア

今年も多くの学生さんがデイサービスセンター（町デ・花の里）で学んで行きました

7/8～10

職業体験学習

小布施中学校 2 年生

職業体験とは、中学生が実際の職場で働くことを通し、仕事への興味や社会性を養う活動です。体験中は、中学生たちの責任感の強さが光りました。任された仕事には「はい、やります!」と意欲的に取り組み、将来への夢や社会性を育む貴重な体験となりました。



7/14

福祉施設体験学習

中野立志館高等学校 3 年生

高校生には、施設見学や利用者との交流に加え、デイサービスの買い物企画（お買い物ツアー）で生活支援を体験してもらいました。

事前に「どんなことに気を付けたらいいですか?」と質問するなど、熱心に準備を進めていました。利用者さんから「若い子が来てくれるとうれしい」と声をかけられ、会話が弾む中で、買い物を楽しむ様子が見られました。



8/11～15

小・中学校教員免許状取得希望者の介護等体験

8/18～22

武蔵野音楽大学 3 年生

教員志望の大学生が、介護等の体験で来所。初めての戸惑いを乗り越え、日を追うごとに自ら気づいて動けるように成長。特技を活かしたキーボードの演奏では、利用者さんとの温かい交流が生まれました。



8/21～22

夏祭りボランティア参加

中野立志館高等学校 JRC 部

夏祭りボランティアに参加したJRC部のみなさんは、福祉ボランティアの経験を活かし、会場を盛り上げてくれました。

射的や魚釣りでは「ハイ頑張っ!」と威勢の良い声掛けで活気を生み出し、ドリンクバーでは「こちらへどうぞ」と優しい心遣いでサポート。

最後はカラオケで歌を披露し、祭りのフィナーレを華やかに飾りました。



8/18～9/12

老年期アドバンス看護学 統合実習

清泉大学 4 年生

将来、看護師の資格取得を目指す多くの看護学生が来所。医療の現場とは異なる環境に戸惑う姿も見られましたが、病院などでの経験を活かし、自ら職員に質問して積極的に行動されていました。

実習を通して、看護学生の「学びを深めたい」という熱意が伝わってきました。



7/30～8/1

福祉の職場体験事業

中野西高等学校 2 年生

この事業は、福祉・介護の仕事への理解促進と人材確保を目的としています。

日を重ねるごとに、高校生と利用者さんとの会話も弾み、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。

現場の業務を体験することで、福祉の仕事への関心がさらに深まりました。



「ふだんのくらしのしあわせ」を支える仕事

～知っていますか？ 私たちの町で働く「ふくし」のカタチ～

「ふくし」と聞いて、あなたはどんな仕事を思い浮かべますか？

福祉とは、「ふだんの」「くらしの」「しあわせ」の頭文字をとって表されるように「ふだんのくらしのしあわせ」を支えるすべての活動につながっています。実は、そんな「ふくし」に関わる仕事は、私たちの町にも数多く存在しています。

今月号から、町を支える福祉の仕事にフォーカスし、現場で活躍する方々へのインタビューをお届けします。「こんな仕事も福祉なんだ！」という新しい発見があるかもしれません。そんな数ある福祉の仕事の中からひとつをピックアップし、現場で活躍する方にお話を伺いました。

介護福祉士

高齢者や障がい者の日常生活を介護で支える

医療ソーシャルワーカー

患者や家族が安心して社会にもどるための援助をする

ケアマネジャー

介護が必要な人に適切な支援計画を立てサポート

就労支援員

働きたい人の職業訓練や就職活動を支える

児童指導員

地域の子どもの健全育成を支援する福祉推進役

保健師

予防的視点から地域住民の健康を守る援助や助言等

社会福祉士

生活に困る人の相談に応じ、て助言、関係機関との連携

保育士

子どもの健やかな成長を支える

など



第1回 医療ソーシャルワーカー 加瀬 直美さん（特定医療法人 新生病院）



1 医療ソーシャルワーカーとはどのようなお仕事ですか？

病気や怪我で療養されている患者さんの個別の悩みに対し、安心して治療や入院ができる環境と一緒に考え、その後の生活が途切れないう支援していく仕事です。

2 この仕事を選んだきっかけを教えてください

幼少期の入院経験から医療現場への憧れがありました。そこで「本当の意味での健康とは何か？」と考えたとき、「命が存続するだけでなく、健康と生きがいがつながるものではないか」と、患者さんの「生活」の中にこそ健康の本質があると感じました。患者さんが自分の人生を生き抜くために、同じ足並みで関わりたいと思ったのがきっかけです。

3 日頃どのようなことを大切に業務にあたっていますか？

患者さんが自分らしく安心して生きていけること、そのための「気持ち」を何よりも大切にしています。専門職が患者さんを引っ張るのではなく、同じスタートラインに立ち、信頼関係を保ちながら適切な距離感で伴走していくことを意識しています。また、患者さんが住み慣れた地域で暮らせるよう、行政機関や様々な医療機関と連携を図り、困ったときに頼れる病院でありたいと考えています。

4 この仕事ならではの喜びややりがい、達成感を感じる時は？

患者さんやご家族から「自分の生き方を大事にしてくれた」という言葉をいただき、悩みながらも決断し、納得できたときの表情が見られたときです。治療を受ける患者さんの本音と家族の思いを知り、時には患者さん・家族の自尊心と専門倫理の間で葛藤し深く悩むこともあります。しかし、そうした葛藤を乗り越え「自分らしい生活」と「治療」をつなぐ架け橋になれたときに、大きな達成感を感じます。

5 この仕事を目指す方へひとことお願いします！

人の人生と向き合う難しさもありますが、この仕事はチームや専門職と支え合い、協力し合える職種です。壁にぶつかり悩むことがあっても、決して一人ではありません。学生時代に先生からいただいた「やりたい！と思う気持ちがあればつながる」という言葉を今も大切にしています。ぜひ福祉の道へ飛び込んでみてください。





お知らせ

第27回 ゆめ愛文化展



作品展 11月20日(木)午前9時～午後4時
21日(金)午前9時～午後3時

押し花、生け花、盆栽、絵画、写真、短歌、俳句、
編み物、手芸品 など

芸能祭 11月21日(金)午後1時～午後3時

歌、楽器演奏、踊りの発表 など

抹茶サービス 11月21日(金)午前9時～午後3時

作品展・出展、
芸能祭・出演は
おでこ
“2ポイント”
対象

申し込み 11月7日(金)までに町社協へ TEL242-6665

お知らせ

ぼくが生きてる、ふたつの世界

～母と息子、切なくも心に響く家族の物語～

須坂市上映会と前売券の販売について

上映日時 11月16日(日) ①午前10時30分
②午後2時30分

上映場所 須坂市メセナホール(大ホール)

前売券 一般、シニア、大学生1,200円
(小中高生は当日券のみ)

**前売り券
取扱場所** 町社協 午前8時30分～午後5時30分
(平日のみの販売)



募集

年賀状デザイン

町社協にご協力いた
いているボランティアさん

や事業所にお届けする来年の年賀状デザイン(写真可)を募集します。

11月28日(金)までにご応募いただいた中から年賀状デザインを選定
させていただきます。

募集

有償雪かき ボランティア

65 歳以上の高齢
者世帯で病気など
により雪かきがで
きない方の代わり
に、雪かきのお手
伝いをしていただ
ける方を募集し
ます。



時 間 原則午前 6 時30分
から(または日中積雪
のあるとき)

除雪範囲 家の入り口から道路
までの幅 1m 程の
範囲

活動目安 積雪 10cm 以上

道 具 各自持参

謝 礼 1 回につき 500 円

募集

おでかけボランティア

(町デイサービス
センター)

期 間 11月1日(土)～16日(日) **場 所** 須坂市臥竜公園 菊花展

時 間 午後2時～3時30分 **問 合 せ** 町社協 TEL242-6665



町デイサービスセンターで、秋の外
出企画として、昨年人気のあった菊花
展にお出かけします。利用者さんと一
緒に咲き誇った菊を見に行きませんか。

募金にご協力 をお願いします

小布施町役場、千年樹の里健康福祉センターに募金箱を設置しています。
町の地域福祉推進につながる活動へのご理解とご協力をお願いします。



じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようさ
まざまな地域福祉の活動に使われています。

町で集まった募金は、町の団体等が主催する地域交流活動
などへの助成金、地域福祉の情報をお届けする「社協報 福ちゃん」、
県内への配分や災害等準備金などに配分されています。



みんなで手を取り合って支え合う地域へ 社会を明るくする運動募金

犯罪や非行をしてしまった人たちが、社会の中
で孤立することなく立ち直っていけるよう更生に
ついて理解を深め、支援の輪を広げていくことが、
安全で安心な地域社会を築くことにつながって
いきます。